

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年10月12日

**【四半期会計期間】** 第100期第3四半期(自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)

**【会社名】** オーエスジー株式会社

**【英訳名】** OSG CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 石川 則 男

**【本店の所在の場所】** 愛知県豊川市本野ヶ原三丁目22番地

**【電話番号】** (0533)82 1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 園 部 幸 司

**【最寄りの連絡場所】** 愛知県豊川市本野ヶ原三丁目22番地

**【電話番号】** (0533)82 1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 園 部 幸 司

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第99期	第100期	第99期
		第3四半期 連結累計期間	第3四半期 連結累計期間	第99期
		自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日	自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日	自 平成22年12月1日 至 平成23年11月30日
売上高	(百万円)	60,117	64,233	80,959
経常利益	(百万円)	8,334	11,088	11,374
四半期(当期)純利益	(百万円)	4,135	5,777	5,904
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	5,232	6,971	4,093
純資産額	(百万円)	66,596	69,823	65,347
総資産額	(百万円)	105,628	119,119	104,373
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	43.54	60.84	62.18
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		57.79	
自己資本比率	(%)	56.9	53.0	56.9

回次	会計期間	第99期	第100期
		第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間
		自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	16.63	19.95

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第99期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 第99期第3四半期連結累計期間及び第99期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新興国における回復傾向は維持しましたが、欧州での金融不安や中国での成長の減速など不透明な状況が続きました。国内においては、継続する円高等への懸念はあるものの震災以降の回復基調を維持しました。

当精密機械工具業界においては、海外市場における底堅い需要に加え国内での自動車販売の伸びに牽引された需要の回復により総じて堅調な市況にて推移しました。

当社グループにおいても、売上高は前年同期の水準が高かった中国を除くアジア地域、米国、欧州が増加を維持し、国内においても自動車生産台数の回復等を反映して前年同期を上回りました。売上高の増加に伴う製造部門の稼働率の向上により利益面でも改善傾向を継続しました。海外売上高比率は日本地域の売上高の増加、中国での減少によるアジア地域の比率の低下及び為替の変動による換算の影響等により47.8%（前年同期は50.8%）と減少しました。

以上の結果、売上高は642億3千3百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益113億2千6百万円（前年同期比26.2%増）、経常利益110億8千8百万円（前年同期比33.0%増）、四半期純利益57億7千7百万円（前年同期比39.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [日本]

売上高は450億4千5百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は63億9千3百万円（前年同期比47.3%増）となりました。

主要ユーザーである自動車関連産業での生産の増加と海外需要に支えられ総じて高水準の需要を維持しました。主力製品のタップをはじめ、超硬ドリル、ハイスドリル、ハイスエンドミル、転造工具等の需要の増加により売上高、営業利益ともに前年同期と比較して増加しました。

#### [米州]

売上高は102億4千9百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は11億6千6百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

主要市場の北米での自動車関連産業をはじめとした主要ユーザーでの生産の増加を反映した市況の回復により、受注は好調を維持しました。主力製品のタップをはじめ、超硬ドリル、超硬エンドミル等の需要の増加により、売上高、営業利益ともに前年同期と比較して増加しました。

#### [欧州]

売上高は50億6千3百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は6億5千6百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

通貨危機による景気停滞感はあるものの、一方で通貨安による輸出産業の活況もあり総じて市況は堅調に推移しました。シェア拡大余地の大きい当地域では新規需要の開拓に注力しており、その成果として主力製品のタップ、超硬ドリル、超硬エンドミル等の需要は増加しました。為替の変動による換算の影響等により、円貨ベースでは営業利益は減少しましたが、外貨ベースでは売上高、営業利益ともに増加しております。

#### [アジア]

売上高は159億7千7百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は34億5千3百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

中国においては、売上高は景況の減速に加え前年同期の水準が高かったこともあり、前年同期と比較して減少しました。韓国、台湾及び東南アジア地域においては、自動車、IT関連産業等での生産の増加、タイの洪水被害からの復興の進展を反映し売上高は前年同期と比較して増加しました。しかしながら、アジアセグメント全体では中国の売上高減少及び為替の変動による換算の影響等により売上高、営業利益ともに前年同期と比較して減少しました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、商品及び製品、機械装置及び運搬具（純額）等が増加したことにより、前連結会計年度末（以下、「前期末」という）と比較して147億4千5百万円増加し、1,191億1千9百万円となりました。

一方、負債は短期借入金、長期借入金等が減少しましたが、転換社債型新株予約権付社債等が増加したことにより、前期末と比較して102億6千9百万円増加し、492億9千5百万円となりました。

また、純資産は利益剰余金等が増加したことにより、前期末と比較して44億7千5百万円増加し、698億2千3百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末と比較して3.9ポイント減少し、53.0%となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は7億7千9百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年10月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	98,955,226	98,955,226	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	98,955,226	98,955,226		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年6月1日～ 平成24年8月31日		98,955,226		10,404		12,051

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,989,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 94,835,900	948,359	
単元未満株式	普通株式 129,726		
発行済株式総数	98,955,226		
総株主の議決権		948,359	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4,100株(議決権の数41個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) オーエスジー(株)	愛知県豊川市本野ヶ原 三丁目22番地	3,989,600		3,989,600	4.03
計		3,989,600		3,989,600	4.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年12月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,066	19,681
受取手形及び売掛金	16,396	16,995
有価証券	0	0
商品及び製品	11,283	13,183
仕掛品	3,443	3,844
原材料及び貯蔵品	4,070	5,122
その他	4,165	3,824
貸倒引当金	160	174
流動資産合計	50,266	62,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,239	13,427
機械装置及び運搬具（純額）	13,906	17,096
土地	11,635	11,932
その他（純額）	3,378	4,462
有形固定資産合計	42,159	46,919
無形固定資産		
のれん	460	374
その他	2,448	2,072
無形固定資産合計	2,909	2,446
投資その他の資産		
投資有価証券	3,400	3,088
その他	5,909	4,466
貸倒引当金	271	280
投資その他の資産合計	9,039	7,275
固定資産合計	54,107	56,641
資産合計	104,373	119,119
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,386	3,910
短期借入金	5,977	4,980
1年内返済予定の長期借入金	3,443	3,270
未払法人税等	1,596	1,241
賞与引当金	298	1,321
役員賞与引当金	310	303
その他	6,788	4,684
流動負債合計	22,800	19,712



	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>固定負債</b>		
転換社債型新株予約権付社債	-	15,000
長期借入金	13,591	11,746
退職給付引当金	268	258
役員退職慰労引当金	52	49
その他	2,313	2,528
<b>固定負債合計</b>	<b>16,225</b>	<b>29,582</b>
負債合計	39,025	49,295
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,404	10,404
資本剰余金	14,197	14,197
利益剰余金	50,082	53,770
自己株式	4,829	4,831
<b>株主資本合計</b>	<b>69,854</b>	<b>73,541</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	715	346
繰延ヘッジ損益	8	-
為替換算調整勘定	11,193	10,764
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>10,486</b>	<b>10,417</b>
少数株主持分	5,979	6,699
純資産合計	65,347	69,823
負債純資産合計	104,373	119,119

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
売上高	60,117	64,233
売上原価	36,042	37,411
売上総利益	24,075	26,821
販売費及び一般管理費	15,097	15,495
営業利益	8,977	11,326
営業外収益		
受取利息	124	137
受取配当金	50	58
為替差益	-	50
その他	318	451
営業外収益合計	492	698
営業外費用		
支払利息	323	305
売上割引	406	459
社債発行費	-	22
為替差損	233	-
その他	172	148
営業外費用合計	1,135	936
経常利益	8,334	11,088
特別利益		
固定資産売却益	10	-
土地売却益	-	13
システム解約損失戻入益	30	-
助成金収入	-	117
その他	4	0
特別利益合計	45	131
特別損失		
固定資産売却損	23	-
固定資産除却損	32	-
ゴルフ会員権評価損	4	-
投資有価証券評価損	-	4
会員権評価損	-	4
土地売却損	-	0
関係会社出資金評価損	324	-
その他	-	0
特別損失合計	384	11
税金等調整前四半期純利益	7,995	11,209
法人税、住民税及び事業税	2,126	2,356
法人税等調整額	961	2,148
法人税等合計	3,088	4,504
少数株主損益調整前四半期純利益	4,907	6,705
少数株主利益	772	927
四半期純利益	4,135	5,777

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,907	6,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	369
繰延ヘッジ損益	0	8
為替換算調整勘定	189	626
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	325	266
四半期包括利益	5,232	6,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,344	5,846
少数株主に係る四半期包括利益	887	1,124

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)
税金費用の計算	一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
受取手形裏書譲渡高	25百万円	39百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)
減価償却費	4,157百万円	4,115百万円
のれんの償却額	119百万円	87百万円
負ののれんの償却額	13百万円	13百万円

(注)のれんの四半期連結損益計算書計上額は、のれん及び負ののれんの償却額を相殺して表示しています。

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年2月19日 定時株主総会	普通株式	759	8	平成22年11月30日	平成23年2月21日	利益剰余金
平成23年7月11日 取締役会	普通株式	569	6	平成23年5月31日	平成23年8月1日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月18日 定時株主総会	普通株式	1,139	12	平成23年11月30日	平成24年2月20日	利益剰余金
平成24年7月3日 取締役会	普通株式	949	10	平成24年5月31日	平成24年7月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,975	9,531	4,976	15,633	60,117		60,117
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,491	133	10	707	11,343	11,343	
計	40,467	9,665	4,986	16,341	71,460	11,343	60,117
セグメント利益	4,339	1,011	688	3,478	9,519	541	8,977

(注)1 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	33,906	10,099	5,045	15,181	64,233		64,233
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,138	150	17	795	12,101	12,101	
計	45,045	10,249	5,063	15,977	76,335	12,101	64,233
セグメント利益	6,393	1,166	656	3,453	11,670	343	11,326

(注)1 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	43円54銭	60円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	4,135	5,777
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	4,135	5,777
普通株式の期中平均株式数(千株)	94,967	94,966
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		57円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(千株)		5,013
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第100期(平成23年12月1日から平成24年5月31日まで)中間配当について、次のとおり取締役会において決議しました。

決議年月日	平成24年7月3日
配当金の総額	949百万円
1株当たり配当額	10円00銭

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月8日

オーエスジー株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大 橋 英 之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古 田 博 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーエスジー株式会社の平成23年12月1日から平成24年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年12月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーエスジー株式会社及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。